

医 対 第 1838 号
令和 2 年 5 月 19 日

厚 生 労 働 大 臣 様

大 阪 府 知 事

新型コロナウイルス感染症発生下における医療提供体制及び検査体制の
現状に関する認識について（回答）

日頃より、大阪府政の推進にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。
ます。

さて、令和 2 年 5 月 14 日付厚生労働省発健 0514 第 8 号によりご照会のあり
ました標記の件について、別紙のとおり回答します。

大阪府健康医療部

健康医療総務課企画グループ 岡田

TEL 06-6944-7625

保健医療室医療対策課感染症グループ 國本・川幡

TEL 06-4397-3204

新型コロナウイルス感染症発生下における医療提供体制及び検査体制の現状に関する認識について（大阪府回答）

○本府ではこれまで、新型コロナウイルス感染症患者の爆発的な増加（オーバーシュート）に備え、以下のとおり、検査体制の充実や病床の確保に取り組んできた。

【検査体制の整備(主な取組)】

- ・帰国者・接触者外来の設置（8 医療圏・70 医療機関）、ドライブスルー方式を含めた地域外来・検査センターの設置（10 箇所）等による検体採取キャパの拡充（計約 870 検体）
- ・大阪健康安全基盤研究所の検査体制の整備、地方衛生研究所・民間検査機関・医療機関・保健所など検査キャパの拡充（計約 1,430 検体）

【病床等の確保（主な取組）】

- ・病床数や症状を踏まえてトリアージを行い、広域的入院調整を実施する「入院調整フォローアップセンター」の立ち上げ
- ・公的医療機関をはじめ府内医療機関に対する受入病床確保の要請（重症病床 188 床、軽症・中等症 949 床、計 1,137 床・65 医療機関）
- ・重点医療機関の設定（大阪市立十三市民病院、阪和第二病院）
- ・発熱等の症状のある救急要請患者の受入・検査を行う「トリアージ病院」の設定
- ・宿泊療養施設の確保 1,504 室（医療従事者用 192 室を含む）、看護師配置等
- ・受入病院等に対する支援
空床確保に対する補助、施設・設備費用補助、人件費補助、衛生用品の供給、院内感染対策支援、特殊勤務手当支給への支援、
「新型コロナウイルス助け合い基金」による医療従事者等への応援金支給

○その結果、現状としては、5 月 14 日の「国専門家会議の状況分析・提言」や「基本的対処方針」において示された緊急事態措置を解除する基準（医療提供体制・検査体制）を達成していると考えている。（別添参照）

○現在、本府においては新規感染者の発生が限定的な局面にあるが、今後の感染拡大に備え、協議会等における議論なども行いながら、

- ・地域外来・検査センターのさらなる拡充など検体採取キャパの充実や、民間医療機関・民間検査機関を含めた PCR 検査能力の拡充
- ・新型コロナ患者受入病床（通常医療との稼働的な利用）や宿泊療養施設の確保といった取組を継続するとともに、

感染拡大の兆候が見られた際に速やかに感染拡大防止策（クラスター対策、追加の病床確保の要請、自粛要請等）が取れるよう、客観的な指標により感染拡大の兆候を把握する「大阪モデル」の取組を進めている。

国においては、各都道府県がリーダーシップを発揮し取組を進めていけるよう、引き続き緊密な連携協力をお願いしたい。

国の解除基準における府の現状

国の解除基準	府の現状				評価
(1) 感染状況【疫学的状況】					
①直近1週間の新規感染者数がその前週の数より減少傾向にあること	5月5日～5月11日 65人 5月12日～5月18日 27人				達成
②直近1週間の10万人あたり累積新規感染者数が0.5人未満程度	0.31人(5/18時点) ※5/16より達成				達成
(2) 医療提供体制【医療状況】					
①重症者数が減少傾向で医療提供体制が逼迫していないこと ②患者急増に対応可能な体制が確保されていること		5/6	5/14	5/18	
	重症者数(人)	61	43	36	達成
	重症病床確保数(床)	188	188	188	
	軽症中等症入院患者数(人)	342	290	262	達成
	軽症中等症病床確保数(床)	919	944	949	
	宿泊療養者数(人)	165	94	80	達成
宿泊療養客室数(室)	1,504 ^(注)	1,504 ^(注)	1,504 ^(注)		
(3) 検査体制の構築 (注) 医療従事者用192を含む					
①PCR等検査件数の動向	検査可能体制 1,430検体/日 陽性率 4.0%(5/6) 0.6%(5/14) 0.4%(5/18)				達成

※基準を満たした場合、国が総合的に判断し、緊急事態措置を解除